PRESS RELEASE
報道関係者各位

2025年5月23日
DFWジャパン

若年層の薬物汚染が過去最悪に

その時、大学アメフトの現場が立ち上がった。

6月8日
王子スタジアムで薬物乱用防止
キャンペーン実施

法政大学×関西学院大学
春の交流戦で
観客と選手が“NO DRUG”を誓う

「未来のスター選手を、薬物で失わせない。」

そんな思いを込めて、大学アメリカンフットボールの現場から観客に向けて薬物の危険性を伝える啓発キャンペーンが行われます。
2025年6月8日（日）、神戸市・王子スタジアムで開催される
法政大学×関西学院大学の春季交流戦（14:00キックオフ）にて、
非営利団体「ドラッグフリーワールドジャパン」が薬物乱用防止キャンペーンを実施します。

【背景】
2023年、日本大学アメフト部で起きた薬物事件と廃部のニュースは、学生スポーツ界に激震を与えました。その後、同団体は甲子園ボウルや各大学との連携で薬物防止活動を続け、今回で3年連続の実施となります。
2024年には、関西学院大学のアメフト部員50名がボランティアとして参加。観客に声をかけ、「薬物にNO！」の署名を募る様子は観戦者の心を動かしました。

【社会的意義】
大麻による検挙者数は2023年に過去最多。初めて覚醒剤を上回り検挙者の約73%が30歳未満20歳未満に限れば過去10年で15.6倍に増加という危機的状況です。
中でも**8割が「友人・知人に誘われて使用」**しており、「正しい知識」があれば防げたケースも多くあります。

【これまでの実績】

・2023年 甲子園ボウルで初実施

（小冊子：約2000冊配布　署名数：約200名）

・2024年 春季交流戦@法政大学

（小冊子：約2300冊配布　署名数：約652名）

・2024年 甲子園ボウル

（関西学院大学アメフト部員50名がボランティア

参加小冊子：約4000冊配布　署名数：約320名）

※これまでに延べ約8,300冊の小冊子を配布

約1,170名が薬物に「NO！」と署名しています。

【イベント概要】

- **日時：2025年6月8日（日）12:30～16:00**
- **場所：王子スタジアム場外**

  （神戸市灘区王子町2丁目1）
- **内容**

  ・啓発小冊子『薬物の真実を知ってください』の配布

  ・「薬物にNO！」宣誓署名ボード

  ・学生アスリートによる呼びかけ・啓発

【見どころ／報道ポイント】

- 学生アスリートが、観客に直接声をかけて「薬物にNO！」署名を呼びかけるシーン
- 観戦者がボードに1人ずつ署名していく「絵になる」瞬間
- 薬物問題を経験した大学同士の交流戦で行う、象徴的なキャンペーン
- 配布される『薬物の真実を知ってください』小冊子（全世界で展開）のビジュアルも訴求力あり
- 「今、現場が動いている」ニュース性の高さ

【主催団体】

ドラッグフリーワールドジャパン（薬物のない世界のための財団・日本支部）

- 設立：2008年（旧・日本薬物対策協会）
- 活動実績：これまでに14万人以上の生徒

  保護者、教育者に薬物情報を提供
- 提携：全国読売安全協会、学生アメフト連盟、各大学アメフト部
- 所在地：東京都新宿区西新宿7-22-31-711
- 代表：富田 洋平
- 公式HP：https://drugfreeworld.info/
- 国際サイト：https://jp.drugfreeworld.org/

【お問合せ先／取材対応】

広報担当：馬川 由美恵（うまかわ ゆみえ）

- 携帯：090-4059-4040（※電話に出られない場合あり。留守電またはメール希望）
- メール：yumieuma@gmail.com
- Instagram：@drugfreeworldjapan

FOUNDATION FOR A DRUG-FREE WORLD